

内閣総理大臣 安倍晋三 殿  
経済産業大臣 林 幹雄 殿

高浜原発 1、2号機運転延長の認可決定に抗議し、  
その撤回と廃炉、自然エネルギーへの転換を求めます

原子力規制委員会が6月20日に、関西電力高浜原発1、2号機の運転期間の20年延長の認可を決定したことは言語道断の愚挙と言わなければなりません。

この決定は、東京電力福島第一原発事故の後に、「原発は原則40年で廃炉にする」と政府が決めた「40年ルール」を、中性子照射による原子炉容器の脆性破壊の可能性も指摘される中、こうした危険性を顧みることなく、自ら決めたルールさえ破るものです。福島第一原発事故の原因はおろか放射性物質汚染の対処さえ不十分な状況の中で、こうした決定を下すことは被災者をはじめ国民への裏切り行為であり、危険極まりない行為です。

原発依存から脱却し、自然エネルギーへのエネルギー政策の転換は世界の趨勢であり、世論にも示されるように圧倒的多数の国民が求めていることです。

ヒロシマ、ナガサキ、ビキニ、フクシマと放射能の深刻な被害を受けた、日本国民が、これ以上の放射線被害にさらされないためにも、政府は今回の運転期間延長許可を直ちに取  
り消すとともに、既存原発の廃炉を進め、原発依存から脱却し、再生可能エネルギーへの転換へと進むよう、政府に強く要請するものです。

2016年6月24日

日本科学者会議全国事務局長 井原 聡

**【FAX 送付先】**

首相官邸 03-3581-3883

経済産業省 大臣官房政策評価広報課 03-3501-5799